

シンガーソングライター
muneyuki sato
さとう 宗幸さん



風間市長の 新春対談

昨年11月の市長就任後、初めてとなる「新春対談」のお相手は、テレビで司会やキャスターなど、幅広く活躍しておりますシンガーソングライターのさとう宗幸さんです。

宗幸さんから見た白石の印象や、人がたくさん訪れる活気あふれるまちづくり、特色ある地域の活性化を進めるために大切なことなどについて、宗幸さんが、11月5日に開催された第27回白石市農業祭の「第2回モクズガニ料理コンテスト」に、審査委員長として来白いただいた際、コンテスト終了後にお話を伺いました。

●さとう宗幸さんのプロフィール

昭和24（1949）年1月25日岐阜県生まれ、2歳で家族と共に古川市に転居し、現在は仙台市にお住まいです。NHK・FM仙台「FMリクエストアワー」のDJを勤めていた時に、番組に寄せられた詩に曲をつけた「青葉城恋唄」が大ヒットしました。現在は歌手活動のほか、情報番組の司会など、テレビ番組に多数出演しています。

また、青少年の健全育成に尽力しており、昭和61（1986）年に法務省より保護司の任命を受けています。

■宗幸さんから見た白石の印象は

風間…おかげさまで、1年経ちましたけれども、私の初めての新春対談として、公私共に大変お世話になっております、さとう宗幸さんにぜひお願いしたいと思っておりました。どうぞよろしくお願ひします。

さとう…こちらこそ、どうぞよろしくお願ひします。

風間…はじめに、白石といいますと仙台の白石といわれるときもありますし、伊達政宗の家臣の片倉小十郎を思い浮かべる方が多いと思います。

さとう…他県に行くときそうかもしれませんね。

風間…逆に仙台の方々から見た白石というのはどうなんだろうなと思うのですが、いまだにお前の所は家臣だと言う人はいないでしょうけれど。

さとう…いいないでしょう。ただ私は、白石というイメージは、東京に行く機会が多いじゃないですか、だから白石というところ「宮城県の玄関口」というのを実感します。例えば、東京から帰ってきて、あの長いトンネルを過ぎて白石が見えてくると、本当に帰ってきたなと感じますね。

これは、おそらく私に限らず宮城県に住む人にとっては、あの長

いトンネルを過ぎると「ああ、帰ってきたよ」と感じると思います。



■白石の歴史と北海道での開拓

さとう…歴史的なことで、伊達家の家臣の片倉小十郎の居城だった白石という見方をする若い人はいないじゃないですか。

風間…案外知られていない白石城の歴史の中で、幕末の40日間にわたって一つの政府として奥羽越の31藩が同盟を結んで、西軍との戦いがありました。

さとう…白石の人にとっては誇りなんですね。

風間…誇りですね。奥羽越列藩同盟が始まった場所が白石城であり、歴史の表舞台となったのですから。

さとう…なるほどね。若い人も聞き伝え、またそして子どもたちにも教え伝えて、その誇りは皆さんの心の中にあるんですね。

でも、そういう誇りというのは持つていたほうがいいですね。

風間…しかし、その後、北海道に行つて登別や札幌の白石区でまちを開墾した方々は大変ご苦労したと思います。

さとう…でも、札幌の白石区のように北海道に白石にゆかりのまちがあることは、白石の皆さんにとつてはどうなんですか。

風間…とてもうれしく思つていますが、これは行つてみなければ分からないけれども、白石のことを、

ものすごく愛している方がたくさんいらつしゃいます。

さとう…それは、先代からいろいろなことを聞いて、おまえたちのふるさと「宮城の白石」への思いは大事にしなさいと言われてきているんじゃないかな。白石区とか登別とか、向こうに行かれた方々が白石に来られときの思いはどのよう

風間…自分の先祖が生まれ育った土地だという思いが強いようですね。

さとう…なるほどね。つぶさに見ていこうという思いですかね。

風間…それと、白石にある先祖のことを調べたいという気持ちがあるようです。私たち白石に住んでいる人間の悪いところは、自分の歴史は当たり前と思つてい

風間…登別とは姉妹都市ですけれども、札幌の白石区とは友好都市ということ、毎年「白石区ふるさとまつり」に参加させていただいておりませんが、白石市の物産を持つていたりしています。

さとう…そうですね。登別の近くですね。



■歩きたくなるまちへ

風間…歴史的には、素晴らしいものを持つているまちですが、これからどうすれば白石がもっと魅力あるまちになるのか、ここからの課題であると思つてい

キューブもある、お城もある、能楽堂もある、ハード面では本当にそろつてますから。

さとう…総体的に考えて、派手なまちではないですね。かえつて派手でないところが城下町と蔵王を代表とする自然との調和が、保たれているまちだと思います。

■人情あふれるまちづくり

風間…いろいろなまちへ行かれてい

さとう…市民自らが啓発活動をして、そういう姿を見せる人が多くなれば、ほかのまちからも来ますよ。

さとう…その通りです。私も、学生のころから旅行が好きだったんですが、旅が好きで、余計な話ですが、ほとんど旅をするときは